

安全にお使い頂くために

安全かつ効果的な取り扱いが行えるように、次の見出しを使用しています。
見出しの意味を十分にご理解の上、正しくお使いください。

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容。

●シンボルマークの意味

 このマークは禁止の行為であることをあらわします。	 このマークは指示を守ることがをあらわします。
---	--

警告

 本製品を道路上で使用する場合は、各地方自治体の条例、各都道府県の道路交通法に従ってください。
 バイクや自転車などの運転中に操作しないでください。 必ず安全な場所に停車させ、周囲の安全を確認してから行ってください。
 視界を遮ったり、運転の妨げになったりするような場所には取り付け しないでください。 事故やケガの原因になります。
 本製品を分解・改造しないでください。 感電や火災、やけどの原因になります。
 本製品の内部に金属物、水などの液体、燃えやすい物質、薬品などを 入れないでください。 回路がショートして火災の原因になります。
 バッテリーパックから漏れた液体が目や肌に付着した場合は、清潔な 水で洗い流してください。 洗い流したあとは眼科や皮膚科など医師の診断を受けてください。 また本製品内に漏れた液体が残っていることがあるので、お買い上げの販売 店にご相談ください。

注意

 本製品から異臭や音がしたら、ただちに使用を中止してください。 そのまま使用し続けると、ショートして火災の原因になるおそれがあります。
 高温多湿になる場所での充電、放置は避けてください。 発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となるおそれがあります。
 水がかかる場所でも使用できますが、注意が必要です。 防水等級はIP66準拠ですが、完全防水ではありません。
 本製品を廃棄する場合は、各自治体の条例に従ってください。 内容については各自治体にお問い合わせください。

リチウムイオン二次電池の安全で正しい使い方

1) 電池を乳幼児のそばに放置しない

使用機器及び電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。

不用意な取り扱いには危険を伴います。

2) 電池をペットのそばに放置しない

動物・ペットのそばには、電池を放置しないでください。

噛む等によって電池が破損し、発熱、破裂、発火の原因になります。

3) 電池が液もれしたら火気から遠ざける

リチウムイオン二次電池が液もれしたり、異臭がする時には、直ちに火気より遠ざけてください。もれた電解液に引火し、破裂、発火の原因になります。

4) 電池はショート+(短絡)させない

電池をネックレスやヘアピン、コイン、鍵などの金属製品と一緒に持ち運んだり保管しないでください。金属は電気を流すため、電池のプラス極とマイナス極に鍵などの金属がぶれるとショートして大きな電流が流れ、発熱、破裂、発火、あるいはこれらの金属などが発熱するなどして危険です。

5) 電池に釘を刺したり、踏みつけたりしない

リチウムイオン二次電池に釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン二次電池が変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。

6) 電池は火中に投入しない

電池を火中に投入すると、破裂や発火し非常に危険です。また、電池を加熱すると、液もれ、破裂、発火などが起こる場合があります。危険です。

7) 電池を電子レンジなどに入れない

電池を電子レンジに入れたり、電磁調理器の上に置かないでください。誤って加熱され、発熱、破裂、発火の原因になります。

8) 電池や電池パックに強い衝撃を加えない

電池に高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

リチウムイオン二次電池が変形したり、リチウムイオン二次電池に組み込まれている保護機構が壊れ、発熱、破裂、発火の原因になります。

9) 電池を高温になる場所に放置しない

ストーブのそば、炎天下の自動車の車内など高温になる場所に放置しないでください。液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

10) 電池の異常に気づいたら使用を中止する

電池の異臭、発熱、変色、変形、その他今までと異なることに気づいた時は、ただちに使用を中止してください。

各部の名称

■ 本体



付属品

もし自転車専用モデルをご購入の場合、付属品の一覧は次の通りです



バイク専用付属品

もしバイク専用モデルをご購入の場合、付属品の一覧は次の通りです



盗難防止アダプター



盗難防止アダプター用
ゴムシート x2



盗難防止アダプター用
ネジとドライバー



盗難防止アダプター用
長いネジ



マウント用バックル



曲面マウント
両面テープ



ハンドル取付マウント



スクリュー



リセット用ピン



防水充電ケーブル



充電ケーブル用ネジ
とドライバー



バイクバックミラー
ブラケット



1/4 アダプター

ご注意:

生産ロットにより、一部アクセサリーが異なる場合があります。ご不明な点がございましたら、カスタマーサポートまでお問い合わせください。

自転車への取り付け

1. 取付けベースとアダプタープレートの組み立て
・小さなネジを使って、取付けベースとアダプタープレートをしっかり固定します。



2. 組み立てたクイックリリースアダプタープレートを大きなネジを使って本体に取り付けます。



3. サイクルコンピューターマウントを自転車に取り付けます。最適な角度に調整した後、ネジを締めて固定します。本体をサイクルコンピューターマウントに取り付けます。



4. 逆さ取り付け: まず、サイクルコンピューターマウントの下側にアンダーマウントを取り付けます。
・次に、本体をアンダーマウントに取り付けます。
・アプリで【カメラ方向】を【上下反転】に設定します。
そうしないと、撮影画像が上下逆さまになります。



操作の詳しい手順については、右側のQRコードをご参照ください。



バイクへの取り付け

盗難防止ブラケットの取り付け手順

1. 盗難防止用ブラケット、ネジ、ドライバー、ゴムシートなどの付属品をすべて準備してください。
2. ドライバーを使用して、ブラケットと本体をしっかりネジで固定します。
3. 小さなドライバーを使用してブラケットの片側のネジを緩めます。
4. ブラケットを適切な位置に取り付け、ブラケットの位置が正しいことを確認したら、ドライバーでブラケットのネジを締めます。
5. 取り付け後にブラケットが揺れたり不安定な場合は、付属のゴムシートを使用してブラケットの内側に入れ、ブラケットの安定性を高めることができます。
7. すべてのネジがロックされていること、盗難防止ブラケットがしっかりと取り付けられていて、運転中にぐらつかないことを確認してください。

ハンドル取付マウントの取り付け手順

ハンドル取付マウントと本体をご用意ください。

1. ブラケットをバイクに取り付け、ブラケットがしっかりと固定されていることを確認してください。
2. ブラケットをバイクに固定したら、本体底面のネジ穴とブラケットのネジを合わせ、時計回りに締めると安定して取り付けられます。
3. ブラケットの中央部分にあるボール状の回転ヘッドを調整し、反時計回りに緩めます。必要に応じてスタンドの角度を前後左右に調整できます。
4. 最適な角度に調整した後、ボールスライベルヘッドを時計回りに締めて、ブラケットが安定し、角度が変わらないことを確認します。

ご注意：

- ・ 取り付ける前に、取り付け場所が運転の安全性や視界に影響を与えないことを確認してください。
- ・ ブラケットの方向を調整する際は、他の部品との衝突にご注意ください。
- ・ 走行中の不用意な緩みを防ぐために、ブラケットと接続部分を定期的にチェックし、接続がしっかりしていることを確認してください。

盗難防止ブラケットの取付



ハンドル取付マウントの取付



バイクへの取り付け(つづき)

粘着ヘルメットブラケットの取り付け手順：

1. マウント用バックル、曲面マウント、両面テープ、1/4 アダプター、長いネジなどの付属品をご用意ください。
2. ヘルメットの適切な取り付け位置を選択し、その場所が清潔で乾燥しており、油分や埃がないことを確認してください。
3. 台座の両面テープの保護フィルムを剥がすと粘着面が露出します。
4. ベースをヘルメットにしっかりと貼付けしていることを確認して取り付け、手で軽く押して完全に貼付けさせます。
5. 取り付け場所によって、ベースへの接続に AEE または 1/4 アダプターを選択します。
6. 長いネジを時計回りに回して、アダプターとベースを固定します。

取り付けるデバイスをアダプターに接続し、デバイスがしっかりと取り付けられていることを確認します。

個人のニーズに応じてスタンドの位置を調整し、デバイスが適切な角度と方向になるようにします。

ご注意：

- ・ベースの接着に影響を与えないように、取り付けの前にヘルメットの表面に傷や損傷がないことを確認してください。
- ・テープを貼付けした後は、接着力を維持するために頻繁に位置を変更しないことをお勧めします。

オートバイのバックミラーブラケットの取り付け手順：

1. 元のバックミラーを慎重に分解し、バックミラーブラケットの位置がきれいで整頓されていることを確認します。
2. バックミラーを取り外した位置にバックミラーブラケットを置き、ブラケットがしっかりと取り付けられていることを確認してから、バックミラーを再度ロックします。
3. ネジを使用して機械をバックミラーブラケットに固定し、走行中に機械が揺れたり脱落したりしないように適切にロックします。

ご注意：

ネジを取り付ける際は、走行中のぐらつきや脱落を防ぐため、適度な力でしっかりと固定してください。

機械の設置位置と角度を調整して、鮮明な視界を確保できます。

ヘルメットブラケットの取付



バックミラーブラケットの取付



充電ケーブルの取り付け

防水充電ケーブルと GPS ケーブルの接続手順：

1. 本体、防水充電ケーブル (付属)、GPS 充電ケーブル (別売り)、ネジ、ドライバーなど、付属品をご用意ください。
2. 本体後部のリアカバーを開け、ネジ口と充電口の向きを合わせます。
3. 防水充電ケーブルを本機の充電ポートに差し込み、充電ポートとケーブルソケットが完全に一致するように確実に奥まで差し込みます。
4. 充電ケーブルのもう一方の端をモバイル電源に差し込み、接続が正常であることを確認してから充電を開始します。
5. 付属のネジとドライバーを使用して、防水充電ケーブルと GPS ケーブルを本体にしっかり締めます。そうしないと、機器に水が入ったり、録画が故障したりする可能性があります。

GPS充電ケーブル(オプション品)に関するご注意:

1. GPS充電ケーブルは電源に接続する必要があります。電源に接続しない場合、軌跡が記録されません。
2. GPSを設置する際は、できるだけ遮蔽物のない場所をお選びください。
3. Androidスマートフォンをご使用の場合、アプリ内でオフラインマップをダウンロードする必要があります。多くのiPhoneではこの手順は不要ですが、一部の機種では必要となる場合があります。

オフラインマップをダウンロード手順



充電ケーブルの接続方法



操作の詳しい手順について
は、右側のQRコードをご参照
ください。

